福井県臨海下水道事業会計

1 事業の概要

本事業は、テクノポート福井の環境保全と公共用水域の水質保全を目的として、テクノポート福井において操業企業等 87 社から排出される下水の処理を行っているものである。

(1) 経営状況

総収益は 658,546,997 円、総費用は 491,224,366 円で、純利益は 167,322,631 円であり、前年度に比べ 3,553,227 円（△2.1%）減少している。

経 営 状 況 (単位：円、%)

	平成 2 2 年度	平成 2 1 年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
総収益	658,546,997	619,418,013	39,128,984	6.3
営業収益	645,683,977	604,472,603	41,211,374	6.8
営業外収益	12,863,020	14,945,410	△ 2,082,390	△ 13.9
総費用	491,224,366	448,542,155	42,682,211	9.5
営業費用	491,082,413	448,541,880	42,540,533	9.5
営業外費用	141,953	275	141,678	著増
純利益	167,322,631	170,875,858	△ 3,553,227	△ 2.1
前年度繰越欠損金	75,126,314	246,002,172	△ 170,875,858	△ 69.5
当年度未処分利益剰余金	92,196,317	△ 75,126,314	167,322,631	著増

(この表は、損益計算書の収益および費用の総計で、消費税および地方消費税抜き。)

(2) 汚水処理実績

処理企業数は 87 社で、前年度に比べ 2 社減少している。年間汚水処理量 4,363,813 m³、下水道使用料 645,683,977 円で、前年度に比べ汚水処理量は 288,960 m³ (7.1%) 増加し、下水道使用料は 41,211,374 円 (6.8%) 増加している。

汚 水 処 理 実 績 の 推 移 (単位：社、m³、円、%)

	平成 2 2 年度	対前年度比較	平成 2 1 年度	平成 2 0 年度	平成 1 9 年度	平成 1 8 年度
処理企業等	87	△ 2	89	91	92	89
汚水処理量	4,363,813	7.1	4,074,853	4,180,006	4,197,894	3,788,686
対前年度比較	288,960		△ 105,153	△ 17,888	409,208	230,914
下水道使用料	645,683,977	6.8	604,472,603	656,470,137	635,798,407	569,479,259
対前年度比較	41,211,374		△ 51,997,534	20,671,730	66,319,148	60,209,660

2 予算および決算の状況

収益的収支および資本的収支の予算および決算の状況（消費税および地方消費税を含む。）は、次のとおりである。

収益的収支の予算および決算 (単位：円)

区 分	予算額 A	決算額 B	翌年度繰越額 C	増減額 (B+C) - A
収 入	687,260,000	690,827,761	—	3,567,761
支 出	594,908,000	517,889,579	0	△ 77,018,421

資本的収支の予算および決算 (単位：円)

区 分	予算額 A	決算額 B	翌年度繰越額 C	増減額 (B+C) - A
収 入	36,379,000	36,379,650	—	650
支 出	156,311,000	154,306,190	0	△ 2,004,810
収支差	—	△ 117,926,540	—	—

資本的収入額が資本的支出額に対して不足している 117,926,540 円については、損益勘定留保資金等で補てんされている。

3 損益状況

(1) 営業損益

営業収益は 645,683,977 円で、前年度に比べ 41,211,374 円 (6.8%) 増加している。これは汚水処理量の増加によるものである。

営業費用は 491,082,413 円で、前年度に比べ 42,540,533 円 (9.5%) 増加している。これは、施設の修繕等による処理場費の増加によるものである。

その結果、営業利益は 154,601,564 円で、前年度に比べ 1,329,159 円 (△0.9%) 減少している。

営 業 損 益 (単位：円、%)

	平成 2 2 年度	平成 2 1 年度	対前年度比較	
			増 減 額	増減率
営業収益	645,683,977	604,472,603	41,211,374	6.8
下水道使用料	645,683,977	604,472,603	41,211,374	6.8
営業費用	491,082,413	448,541,880	42,540,533	9.5
管渠費	8,794,381	7,036,224	1,758,157	25.0
処理場費	340,599,121	292,804,480	47,794,641	16.3
総係費	16,246,390	7,648,735	8,597,655	著増
減価償却費	121,917,665	140,379,567	△ 18,461,902	△ 13.2
資産減耗費	3,524,856	672,874	2,851,982	著増
営業利益	154,601,564	155,930,723	△ 1,329,159	△ 0.9

(2) 営業外損益

営業外利益は 12,721,067 円で、前年度に比べ 2,224,068 円 (△14.9%) 減少している。

営 業 外 損 益 (単位：円、%)

	平成 2 2 年度	平成 2 1 年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
営業外収益	12,863,020	14,945,410	△ 2,082,390	△ 13.9
受取利息	9,859,323	14,766,232	△ 4,906,909	△ 33.2
補助金	2,981,000	0	2,981,000	皆増
雑収益	22,697	179,178	△ 156,481	△ 87.3
営業外費用	141,953	275	141,678	著増
支払利息	0	132	△ 132	皆減
雑支出	141,953	143	141,810	著増
営業外利益	12,721,067	14,945,135	△ 2,224,068	△ 14.9

営業利益 154,601,564 円に営業外損益を加減した経常利益は 167,322,631 円で、前年度に比べ 3,553,227 円 (△2.1%) 減少している。

以上の結果、当年度の純利益は 167,322,631 円となっている。

損 益 比 較 (単位：円、%)

	平成 2 2 年度	平成 2 1 年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
営業利益	154,601,564	155,930,723	△ 1,329,159	△ 0.9
営業収益	645,683,977	604,472,603	41,211,374	6.8
営業費用	491,082,413	448,541,880	42,540,533	9.5
営業外利益	12,721,067	14,945,135	△ 2,224,068	△ 14.9
営業外収益	12,863,020	14,945,410	△ 2,082,390	△ 13.9
営業外費用	141,953	275	141,678	著増
経常利益	167,322,631	170,875,858	△ 3,553,227	△ 2.1
純利益	167,322,631	170,875,858	△ 3,553,227	△ 2.1

4 経営成績（事業の収益性）

本事業の収益性を示す比率は、次のとおりである。

総収支比率は、前年度を 4.0 ポイント下回り、134.1%となっている。

営業収支比率は、前年度を 3.3 ポイント下回り、131.5%となっている。

収 益 性 の 状 況 (単位：%)

項 目	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度
総収支比率 (総収益／総費用)	134.1	138.1	138.3	135.0	113.6
営業収支比率 (営業収益／営業費用)	131.5	134.8	134.8	132.3	112.3

※ 総収支比率は、損益計算上、総体の収益で総体の費用を賄うことができるかどうかを示し、この比率が高いほど純利益率が高いことを表す。

数値が 100%未満の場合は、損失が生じていることを意味する。

※ 営業収支比率は、企業本来の活動に注目し、その利益率を示すものであり、営業外収支、特別損益といった企業本来の活動とは直接結びつかない収支を除外している。

数値が 100%未満の場合は、企業本来の活動に損失を生じていることを意味し、健全経営とはいえない。

5 財政状態

(1) 資産の状況

資産合計は 10,147,343,541 円で、前年度に比べ 166,512,645 円 (1.7%) 増加している。

なお、未収金の主なものは、3 月分の下水道使用料 55,559,715 円である。

資 産 の 状 況 (単位：円、%)

	平成22年度末 現在高	平成21年度末 現在高	対前年度比較	
			増減額	増減率
固定資産	7,655,497,066	7,670,066,412	△ 14,569,346	△ 0.2
有形固定資産	7,655,151,397	7,669,720,743	△ 14,569,346	△ 0.2
無形固定資産	345,669	345,669	0	0.0
流動資産	2,491,846,475	2,310,764,484	181,081,991	7.8
現金預金	2,433,441,649	2,251,148,249	182,293,400	8.1
未収金	58,404,379	59,615,938	△ 1,211,559	△ 2.0
立替金	447	297	150	50.5
資産合計	10,147,343,541	9,980,830,896	166,512,645	1.7

(2) 負債の状況

負債合計は 134,630,979 円で、前年度に比べ 627,828 円 (0.5%) 増加している。

負債の状況 (単位:円、%)

	平成22年度末 現在高	平成21年度末 現在高	対前年度比較	
			増減額	増減率
固定負債	47,418,285	78,564,378	△ 31,146,093	△ 39.6
引当金	47,418,285	78,564,378	△ 31,146,093	△ 39.6
流動負債	87,212,694	55,438,773	31,773,921	57.3
未払金	83,387,694	54,363,773	29,023,921	53.4
預り金	3,825,000	1,075,000	2,750,000	著増
負債合計	134,630,979	134,003,151	627,828	0.5

(3) 資本の状況

資本合計は 10,012,712,562 円で、前年度に比べ 165,884,817 円 (1.7%) 増加している。

資本の状況 (単位:円、%)

	平成22年度末 現在高	平成21年度末 現在高	対前年度比較	
			増減額	増減率
資本金	116,542,170	116,542,170	0	0.0
自己資本金	116,542,170	116,542,170	0	0.0
剰余金	9,896,170,392	9,730,285,575	165,884,817	1.7
資本剰余金	9,803,974,075	9,805,411,889	△ 1,437,814	△ 0.0
利益剰余金	92,196,317	△ 75,126,314	167,322,631	著増
資本合計	10,012,712,562	9,846,827,745	165,884,817	1.7

6 資金の状況

(1) 資金収支

資金の収支は、受入資金 2,987,717,908 円に対し支払資金 554,276,259 円で、差引き 2,433,441,649 円が現金・預金として翌年度へ繰越されている。

資金収支の状況 (単位：円、%)

区分	平成22年度	平成21年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
受入資金	2,987,717,908	2,663,833,422	323,884,486	12.2
支払資金	554,276,259	412,685,173	141,591,086	34.3
差引	2,433,441,649	2,251,148,249	182,293,400	8.1

(注) この表の数値は、当該年度中の資金収支の状況であり、受入資金には前年度繰越金を含む。

(2) 年度末資金の推移

年度末資金の推移 (単位：千円)

項目	年度				
	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度
① 現金預金残高	2,433,441	2,251,148	1,982,927	1,655,226	1,381,335
② 未収金	58,404	59,615	46,956	58,572	56,096
③ 立替金	1	1	0	0	0
④ 未払金	83,387	54,363	27,287	41,513	69,141
⑤ 預り金	3,825	1,075	5,547	4,321	4,783
年度末資金①+②+③-④-⑤	2,404,634	2,255,326	1,997,049	1,667,964	1,363,507

(注) この表の各区分の数値は、3月31日現在の資金の状況である。

7 審査意見

当年度は、累積欠損金が解消され、9千2百万円余の利益剰余金が計上された。

今後は施設、設備の更新が必要とされることから、計画的な施設、設備の更新や経費節減等、経営の健全化の維持に努められたい。